

運動会に向けて頑張っています☆

にじ組

9月19日

〈リレーの練習に励んでいます〉

このようにホワイトボードにマグネットを置いていきます↓

リレーのチームは担任で決めて、走る順番はチームごとに相談して、決めるようにしています。

走る順番の決め方は、ホワイトボードの数字の下に自分のマグネットを貼っていきます。

まずは一回戦をして、勝ち負けを経験する子どもたち。その後サークルタイムをして、走る順番をどうすると、チームが勝てるのかについて、話し合っています。



〈各チームのサークルタイムの様子〉

黄色チーム

1回戦、みんなが走りたいたいところに自分のマグネットを置いて、納得しています。2位になって、悔し泣きをするSさん。

サークルタイムのときに、

Mさん「最初に速い人が走ればいいと思う」

Kさん「元気な人はさいごがいい」

Hさん、Mさん「私もそう思う」

保育者:「どういう人が最後に走ればいいと思う？」

走ることに自信があり、「走りたい！」と立候補した人が、最後(アンカー)になる作戦で臨みました。

2回戦では、黄色チームは最後に追い上げ、2位になり、盛り上がっていました。

1回戦と同じ結果でしたが、最後の追い上げが、チームの自信になり、悔し泣きする子はいませんでした。



青チーム

何度かリレーを繰り返し、

Hさん「走るのが早い順にしたらいんじゃない？」

と言って、マグネットを置いていきます。

Hさん「私速いから、最初のほうがいい」

Rさん「私も最初がいい」

どちらも2の数字の下にマグネットを置き、第2走者に走りたいと、順番を譲りません。

Kさん「じゃあ2回目は順番を逆にしたらいいんじゃない？」

と、提案があり、しばらく考えたあと

Hさん「じゃあ私優しいから、次でいいよ」

と言って、譲っていました。

Mさん「私走るの自信ないから真ん中らへんがいい」

と言って、真ん中のほうにマグネットを置いていきます。

チームのみんなは何も言わず、見守っています。

Yさん「僕は最後に走る」

青チームは最初が肝心と思っているようです。





♡リレーと作戦会議(サークルタイム)を通して身につけていきたいこと♡

積善…友だちと協力して、1つのことを最後までやり通す。

- ・友だちの思いに気付く。
- ・自分の意見を発言する。
- ・友だちの意見を聞いて、共感したり、ときには、折り合いをつけたりする。

赤チーム

保育者:「どういう順番で走ったらいいと思う?」

Hさん「最後はラスボスやから、…」

Sさん「ラスボスって速い人やよ〜」

と、言ってアンカーに自分のマグネットを貼ります。

それに対しては他の友だちも納得している様子です。

第2走者が空いていて、Kさんだけがそこに置くことを渋っています。

保育者:「なんで Kくんは、2番目に走るのが嫌なの?」

Kさん「だって黄色チームの2番目Sやもん」

自分と一緒に走る、他チームの友だちの足の速さが気になるようになってきたようです。



今まで何度かリレーの練習を繰り返しています。最初は、マグネットを走りたい番号に置いて、納得していましたが、繰り返すうちに、“勝ちたい”という意思が徐々に出てきています。話し合いを聞いていると、走ることに自信がある子、自分は走ることに自信がないから、この順番で走りたいということも、保育者に伝えようとしています。また、話し合いの中で、自分の思いを周りになかなか言えない子に対して、その子の気持ちを代弁して伝える姿もあります。

運動会まであと少し、子どもたちの勝ちにこだわる姿や、友だちの意見を聞いて、チームの勝利のためにがんばる姿をお伝えしていきたいです。



にし組の親子競技はリレーをします。子どもvs大人で対決をしようと思っています。(大人チームにハンディあり)

最後の運動会なので、みんなで思い切り身体を動かし、心から笑い、楽しめたらと思っています。当日は、みんなで思い切り身体を動かして楽しみましょう!